

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	建築設計計画評価小委員会		主 査 名：加茂紀和子 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (建築設計計画運営委員会)		委員長名：菊地成朋 主 査 名：吉村英祐
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・現代建築作品を通して有効な設計方法論を求め、新しい計画学の枠組みを構築する。 ・現代建築作品・プロジェクトを建築計画学から評価する可能性を探るため、様々なクライテリア (評価軸・評価基準) と評価方法を検討し、試行する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	無し 加茂紀和子(主査、みかんぐみ)、脇坂圭一(幹事、名古屋大学)、泉幸甫(泉幸甫建築研究所)、宇野求(東京理科大学)、岸本達也(慶応大学)、木多彩子(摂南大学)、黒崎敏(株式会社 APOLLO)、佐藤慎也(日本大学)、鈴木雅之(千葉大学)、高橋浩伸(有限会社木鶏建築研究所)、西村伸也(新潟大学)、服部岑生(NPO ちば地域再生リサーチ)、細野透(建築&住宅ジャーナリスト)		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2013 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (2013 年 5・8、2014 年 1・2・3 月実施) (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 現代建築作品・プロジェクトを建築計画学から評価する可能性を探るため、建築家の自邸に関するインタビューを分析し、その中での普遍性、独自性のあられかたを分析するとともに、その設計計画における評価方法を検討した。 2. 上記内容をまとめ、公表方法を議論した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. これまでの活動でまとめた、仮称「建築家の自邸」をまとめるにあたり、刊行する出版社の意向との調整が難しく、出版以外の公表方法も思慮にいれ、今後の展開および、活動の成果報告と今後の発展について、委員会内でさらに議論が必要と思われる。